

臨床研究に関する情報公開について

西暦 2017 年 9 月 19 日 Ver1.0

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんおひとりずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人が特定できる情報は削除します。また、研究の成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際にも個人が特定できる情報は公表しません。

ご自身の診療情報を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問合せなどがある場合には、以下の「問合せ先」へご照会ください。研究への不参加を申し出られた場合にも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名：	イメージ透視下に挿入する経皮的椎弓根スクリュー法の正確性に関する検討
実施診療科：	医療法人財団荻窪病院 整形外科
研究期間：	西暦 2017 年 10 月 1 日～西暦 2023 年 12 月 31 日
研究目的と意義：	経皮的椎弓根スクリューシステムを用いた脊椎固定術の症例に対して、術前後での X 線や CT, MRI 画像を用いて、経皮的椎弓根スクリュー刺入の正確性及び誤刺入の危険因子などにつき検討し、経皮的椎弓根スクリュー刺入正確性のさらなる向上を目的とする。
研究内容：	<p>●対象となる患者さん 西暦 2012 年 1 月から西暦 2021 年 12 月までに経皮的椎弓根スクリューシステムを用いて脊椎後方固定術を行なった患者さん</p> <p>●利用するカルテ情報 身長、体重、性別、既往歴、画像における該当椎体の形状、スクリューの位置、隣接椎体との関係、該当椎体高位における筋肉や脂肪の量的評価</p> <p>●研究方法 2012 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日の期間に経皮的椎弓根スクリューシステムを用いた脊椎固定術を行なった患者をカルテより抽出し登録する。臨床データを電子カルテより収集・検討し、経皮的椎弓根スクリュー刺入の正確性や誤刺入の危険因子などにつき検討する。</p>
問合せ先：	<p>【研究責任者】 医師名：河野 亨 医療法人財団荻窪病院 整形外科 住 所：〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24 電 話：03-3399-1101 (代表)</p>

医療法人財団荻窪病院病院長